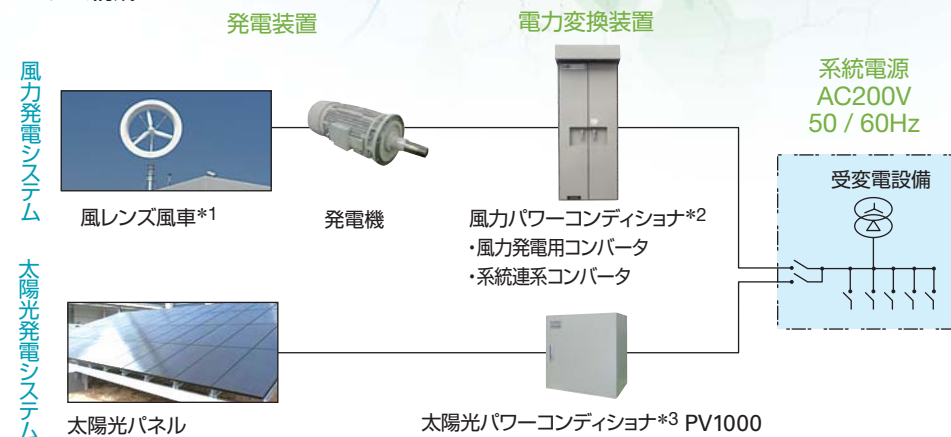


太陽光・風力発電システムの納入事例：北九州市

化石燃料に依存したエネルギー資源は、将来的に安定的な調達・供給に対する不安から、エネルギー供給源の分散・多角化が進められています。こうした中、環境を配慮した再生エネルギー導入が必要となってきています。

当社では、「環境エネルギー」を新規事業の柱として積極的に取り組みを進めています。これまでに行橋事業所で当社製の専用パワーコンディショナーや電気品を活用した太陽光・小形風力ハイブリッド発電システムを設置し、効率性と安全性を実証してきました。今回は、当社の本社所在地である北九州市において、小形風力、太陽光発電のシステムの納入事例を紹介します。納入したシステムはすべて系統連系し、各施設の電力量の一部をまかなっており、「世界の環境首都」を目指す北九州市のエコ推進に貢献しています。

◆ システム構成



スクールニューディール太陽光発電システム

10kW×3校

政府は2009年、スクールニューディール構想を提唱し、「21世紀の学校」にふさわしい教育環境の抜本的充実を図ることとしました。それを受けて、北九州市は小中学校への太陽光発電装置の設置を実施しています。当社初の太陽光発電システムを含め、既に3校に導入され、安全・安心で環境にやさしい学校づくりに貢献しています。



太陽光パネル
運動場設置のため、パネル面に防護ネットを取付けています。



発電表示装置



パワーコンディショナ*3

センター内入口に設置された表示モニター

北九州市環境ミュージアム風力発電システム

3kW×1台

環境ミュージアムは、北九州市が整備する「市民のための環境学習・交流総合拠点施設」です。市民の環境学習、小中学校の環境への啓蒙活動を推進するために、当社の小形風力発電システムを納入しました。

職員事務所に設置された遠方操作監視盤



正面玄関（来館者入口）に設置された風レンズ風車*1



屋上に設置された風力パワーコンディショナ*2

九州ヒューマンメディア創造センター風力・太陽光ハイブリッド発電システム

風力発電 3kW×1台 太陽光発電 10kW×1系統

九州ヒューマンメディア創造センターは、新エネルギーの導入やビルエネルギーマネジメントにより、標準的なビルよりCO₂の20%削減を目指しています。その一環として当社の風力・太陽光ハイブリッド発電システムが導入されました。効率よく発電し、電力は照明などに利用され、省電力化に貢献しています。



風力発電 太陽光発電

発電監視システム

運転状況を観測し、発電状況はセンター内モニターに表示しています。
(安川情報システム株式会社製)



用語解説：

- *1 ウィンドレンズ（株）社の登録商標です。
- *2 風力発電機によって発電された電力を電力網に供給し、一般の電気機器で使用できる電力を作り出す機器です。
- *3 太陽電池から得られる直流電圧を昇圧し、電力会社の系統連系に同期した高品質の交流電圧に変換し、系統電源へ出力する機器です。



北九州市日明浄化センター大規模太陽光発電システム

75kW×2系統

「環境モデル都市」である北九州市は、浄化センターを地域のエネルギー再生拠点としています。今年4月に納入された当社の大規模太陽光発電システムは、処理場の水処理施設の上部空間に太陽光パネルを設置し、施設を有効利用しています。



当社初の大容量パワーコンディショナ*3 (100kW×2セット)

■ お問い合わせ先：システムエンジニアリング事業部 システム工場 第2技術部 システム環境グループ TEL 0930-25-2964 FAX 0930-23-3402